

令和 7 年度  
姉妹都市短期留学支援事業

# 実施報告書

2025

令和 7 年（2025 年）11 月  
宇部市  
観光スポーツ文化部  
観光交流課

UBE 宇部市  
未来を彫刻するまち



---

• 事業概要	3
• 参加生徒及び引率者	4
• スケジュール	5
• 活動日誌	8
• 帰国報告書	
◦ 宇部高等学校	大橋 のりか 32
◦ 宇部高等学校	河村 歩実 33
◦ 宇部高等学校	工藤 早葵 34
◦ 野田学園高等学校	竹永 妃菜子 35
◦ 宇部高等学校	田中 蒼 36
◦ 宇部高等学校	田中 萌々香 37
◦ 慶進高等学校	成清 千華 38
◦ 慶進高等学校	橋本 こころ 39
◦ 宇部高等学校	道上 莉央 40
◦ 宇部鴻城高等学校	盛橋 明夢 41
◦ 引率者	油利 圭子 42
◦ 引率者	小野 健次郎 46
• 資料	48

# 01 事業概要

## 目的

姉妹都市であるオーストラリア・ニューカッスル市（以下「ニュ市」という。）に留学し、積極的に勉学に励み、ニュ市における姉妹都市交流を促進する青少年に対し、予算の範囲内において姉妹都市短期留学支援事業助成金を交付することにより、本市とニュ市との姉妹都市交流をより深化させるとともに、青少年の多文化共生社会への理解を深めることを目的とする。



## 留学詳細

期間：令和7年7月19日（土）～8月3日（日）

留学先：ニューカッスル大学ランゲージセンター

参加者数：10人

対象者：次のいずれにも該当する者

1. 令和7年4月1日時点で宇部市民かつ高等学校又は高等専門学校の第1・2・3学年に在学する者
2. 健康状態が良好で、旅行及び長期滞在に耐えられる者
3. 海外において協調性をもって家庭生活及び研修活動ができる者
4. 保護者及び所属学校長の承諾が得られる者
5. 本事業に係る全ての行事（各種研修、帰国報告会等）に出席できる者
6. 英検準2級相当以上の英語力を有する者
7. 過去3年以内に本事業において助成金の交付を受けていない者

内容：英語学習、観光・文化体験、ホームステイ等

助成金額：一人45万円

## 参加生徒

(氏名の五十音順)

学校名	学年	氏名 (ふりがな)
宇部高等学校	1	大橋 のりか (おおはし のりか)
宇部高等学校	1	河村 歩実 (かわむら あゆみ)
宇部高等学校	1	工藤 早葵 (くどう さき)
野田学園高等学校	3	竹永 妃菜子 (たけなが ひなこ)
宇部高等学校	3	田中 蒼 (たなか そう)
宇部高等学校	2	田中 萌々香 (たなか ももか)
慶進高等学校	1	成清 千華 (なりきよ ちはる)
慶進高等学校	2	橋本 こころ (はしもと こころ)
宇部高等学校	2	道上 莉央 (みちがみ りお)
宇部鴻城高等学校	2	盛橋 明夢 (もりはし あゆ)

## 引率者

(敬称略)

所属	氏名 (ふりがな)
宇部中央高等学校 教諭	油利 圭子 (ゆり けいこ)
宇部市観光スポーツ文化部観光交流課 職員	小野 健次郎 (おの けんじろう)

# 03 スケジュール

## 出発前後・現地スケジュール

出発前後を含め、計22日間の日程で事業を実施しました。現地では2週間語学学校に通い、週末はそれぞれのホームステイ先での滞在を楽しみました。

また、姉妹都市交流の一環として、ニューカッスルハイスクール及びコタラハイスクールを訪問しました。

日付	曜日	時刻	内容
6/12	木	18:00   20:00	事前説明会 (市役所本庁舎棟 3階 会議室 (防災情報センター))
7/6	日	09:00   12:00	出発前研修 (1) (市役所本庁舎棟 3階 会議室 (防災情報センター))
7/13	日	09:00   11:00	出発前研修 (2) (市役所本庁舎棟 3階 会議室 3-3)
7/14	月	16:30   17:00	出発前表敬訪問 (市役所本庁舎棟 3階 市長応接室)
7/19	土	17:45 19:25 22:45	山口宇部空港 出発 羽田空港 到着 羽田空港 出発
7/20	日	09:25 10:30 13:30	シドニー空港 到着 シドニー空港 出発 ホームステイ先 到着
7/21	月	09:00 11:00 13:00	オリエンテーション 昼休憩 キャンパスツアー、SEP (※) との交流
7/22	火	09:00 11:00 13:00	英語学習 (リスニング・スピーキング) 昼休憩 グループプレゼンテーション導入、アカデミックスキル

# 03 スケジュール

日付	曜日	時刻	内容
7/23	水	08:00 11:00 13:00	課外活動（コーストXPエンカウンターズ） 昼休憩 ジャーナルについて
7/24	木	08:55   15:00	コタラハイスクール訪問
7/25	金	09:00 11:00 13:00	SEPとの交流 昼休憩 グループプレゼンテーション準備
7/26	土	終日	ホストファミリーとの交流
7/27	日		
7/28	月	09:00 11:00 13:00	SEPとの交流 昼休憩 大学の授業体験
7/29	火	08:45   15:00	ニューカッスルハイスクール訪問
7/30	水	09:00 11:00 13:00	ジャーナルへのフィードバック 昼休憩 課外活動（ブラックバット保護区）
7/31	木	09:00 11:00 13:00	アカデミックスキル 昼休憩 SEPとの交流
8/1	金	09:00 11:00 13:00	グループプレゼンテーション 準備・発表 昼休憩 修了証書授与、アフタヌーンティー

# 03 スケジュール

日付	曜日	時刻	内容
8/2	土	朝 11:00   17:00 20:55	ホームステイ先 出発 シドニー空港 到着 シドニー観光 シドニー空港 到着 シドニー空港 出発
8/3	日	05:45 10:15 12:10 12:40	羽田空港 到着 羽田空港 出発 山口宇部空港 到着 解散
8/8	金	09:00   11:00	帰国後研修会 (市役所本庁舎棟 5階 第2委員会室)
8/22	金	14:00   15:30	帰国報告会 (市役所市民交流棟 交流ホール)

※Student Experience Programの略。ニューカッスル大学の学生が教師を務めるプログラム。



出発前表敬訪問

# 04 活動日誌

7月6日（日）

大橋

ALTの方と英語での会話を楽しみました。自分の言いたいことが言えないということが悲しく、悔しかったです。まだ研修まで時間があるので勉強しようという気持ちになりました。

河村

初めての研修ということで、単語のゲームを通してメンバーと仲良くなったり、4人のALTの先生と英語コミュニケーションの練習を行いました。日常生活でのいろいろな場面を想定し、オーダーや道のたずね方などのやりとりを英語でできるよう頑張りました。その中で、宇部市について紹介する事が特に難しく、宇部市の有名な場所や食べ物、偉人などを伝えることが良いと知りました。今日の研修でメンバーそれぞれをお互い知ることができ、より楽しみになりました。

工藤

一緒に行くみんなとしっかり話したのは今日が初めてでした。最初のアイスブレイクで結構緊張がほぐれて仲良くなれたと思います。テーマ別にペアになって分かれた時は同じテーマでも内容が異なり、より様々な面から調査できそうだと思いました。例えば私はオーストラリアの環境保全のために日頃現地の方が行っている活動やリサイクルボックスの設置状況、現地の方々の環境に対する考え方を調査しようと考えていました。そしてペアの子は動植物を守るための環境保全活動に興味を持っていたのでいろいろな場所を訪れて良いものが得られるように頑張ります。　♪



ALTとの英会話レッスン



アイスブレイク

# 04 活動日誌

7月13日（日）

竹永

宇部市とニューカッスル市について改めて深く学ぶことができた。やさしい日本語は初めて知ったけどとても素敵な活動だと思ったし、もし自分が日本語を勉強中の人と出会ったときは活用したいと思った。今日学んだことを活かして宇部市の魅力をオーストラリアの方々に伝えたい。

田中（蒼）

今日は研修の2日目！集合する時にみんなと話ができる楽しかったです♪服や小物は用意をしたけど、肝心のお金やカードの用意はできていないので帰ってすぐ用意しようと思う！！  
来週の今頃にはもうオーストラリアに着いていると思うと結構ドキドキします（笑）  
出発に備えて残りの5日も元気に過ごしたいです♡

研修の後、期日前投票をして帰りました。オーストラリアで開票速報を見るのが楽しみです



田中（萌）

今日は宇部市の多文化共生社会について学びました。今までまったく知らなかつたので、宇部市がどのように取り組んでいるのか知れてとても貴重な時間でした。また、みんなと会うのが2回目でたくさん話せて嬉しかったです。



宇部市の多文化共生について学ぶ



ニューカッスル市について学ぶ

# 04 活動日誌

7月14日（日）

## 成清

今日は、出発前表敬訪問がありました。市長さんの前で自分の抱負を言いました。緊張しすぎて噛み噛みでした >\_<。自己紹介が終わった後、市長さん、議長さん、会長さんに激れいの言葉をいただきました。おもしろい話も聞けて良かったです。出発前表敬訪問が終わった後、特別に、市長室を見せてもらいました。レノファのユニフォームや、エヴァンゲリオンなど色々なものが見られてとても貴重な体験もできて、良かったです。

## 橋本

今日は市役所で市長さんなどに表敬訪問を行いました。自分の目標をしっかりと伝えることができ、いよいよ始まるという実感も湧いてきました。また、ホームステイ先が決まりました！私のホストファミリーはとても優しそうで、日本慣れしているとも説明があり、少し安心しました。犬を飼っているそうなので、たくさん遊びたいと思います。そしてなんと同じ時期にホームステイしているナイジェリアの子がいるみたいなので、国際交流を存分に楽しみたいです！今はまだ緊張の方が強いけれど、これからホストファミリーと連絡をとりあって、少しでも仲を深められたらいいなと思います。

## 道上

今日は出発前表敬訪問がありました。私はオーストラリアで現地の人とコミュニケーションを取り、相手の文化を知り、日本の文化も伝えるという異文化交流の目標を達成できるように頑張りたいです。



市長表敬訪問で市長から激励を受ける

# 04 活動日誌

7月19日（土）

## 盛橋

いよいよ出発です。もうずっと不安で不安でしかたがありませんでした。それに追い打ちをかけるように、宇部空港でスーツケースを預ける時に一人だけすごく時間がかかってしまったので、更に焦りました。羽田に着いて、国際線の方に移動をしたら、思ったより時間がなくて、あまりゆっくりできませんでした。それ違う人皆が異なる言語を話していって、既に海外にいるような気分でした。飛行機の席は真ん中で、右隣が千華ちゃん、左隣が外国の方でした。すごく優しい方でした。機内では、働く細胞の実写映画を見ました。機内食が来るまでに思いのほか時間があって、すごく眠たかったです。機内食には天丼を選びました。とてもおいしかったです。



山口宇部空港からの機体

## 河村

ついに出発の日です。楽しみよりも不安の方が勝っていましたが、みんなの顔を見たら、不安が消え、楽しく移動することができました。飛行機も初めてだったので、思っていたよりも離着陸時の揺れが大きく、驚きました。空から夕焼けと富士山も見え、心がいやされました。乗り継ぎをし、いよいよ長時間フライトが始まりました。機内食もおいしくいただいたり。モニターで動画を見たりと、良い時間が過ごせました。だけど、夜はあまり眠れませんでした・・・明日オーストラリアの地に降り立つのが待ち遠しいです！！

今日学んだこと

- 飛行機の縦揺れには注意せよ！
- 羽田空港はきれいで滑走路がめちゃくちゃ広い！
- モスクが空港内にあった！

## 大橋

今日は飛行機に2回も乗りました。機内食を食べたり、飛行機の中で睡眠をとったりすることが初めての経験で、こんな経験ができることがとても嬉しかったです。オーストラリアの景色を飛行機から見たのですが、とても絶景でした。オーストラリア楽しみです。



山口宇部空港出発ターミナルにて

# 04 活動日誌

7月20日（日）

工藤

9時間のフライトはしっかり寝て、しっかり食べて、時間に余裕があれば勉強しようと思つていきました。しかし思っていたよりも狭く、椅子に座ったままで眠りにつくのに少し時間がかかりました。しかし、飛行機の前の座席についているテレビで映画「モアナと伝説の海2」が見れたので良い思い出です。近くには友達が座るのだと考えていたので少しさびしい気持ちもありましたが、一人でも十分フライトを楽しめました。離陸直後から数時間は自分のスマホでドラマを見ていたのすぐに充電がなくなってしまいました。目の前に充電コードがあったから使えたのに、自分の充電コードの差し込み口と形が異なり使えませんでした。

ホストファミリーの家まではみんなでバスに乗って行きました。私は蒼先輩の隣でたくさんお話ができて楽しかったです。街中を車で通っていく中で日本とは全く違う雰囲気に心が躍りました。大きく立派な家や船の多い海、冬で寒いのに半そで半ズボンの人々、そのすべてがとても印象に残っています。ホストファミリーがどんな方々か分からず正直不安でしたが、気さくに迎え入れてくれてとても安心しました。会話をする中で分からぬ言葉が多く、何度も聞き返す場面がよくありました。もっと勉強するべきだと感じられ良い刺激になったのかと思います。

竹永

9時間程羽田空港から飛行機に乗りシドニー空港に到着することができた。オーストラリアが今冬であることは知っていたけど、飛行機から降りた時は驚いた。初めてこんなに長時間飛行機や車に乗つたので疲れた。ホストマザーの方はとても優しく緊張してうまく話せない私に、たくさん話しかけてくださったのがとても有難かった。日本のお土産も喜んでいただけて本当に良かった。明日から学校が始まるので頑張っていきたい。

田中（蒼）

ついにシドニーに着いた。飛行機の中ではほとんど眠れなかつたので、体がとても疲れていた。機内食は、夕食が多くて、朝食の方はあまり食べられなかつた。着陸した後は飛行機の準備が間に合わず、2、30分くらい席に座つたままだつた。死ぬほどトイレに行きたかったので、少し焦つた。飛行機から出た後、空港の広さに驚いた。羽田空港も充分人が多かったが、それ以上の広さと人の多さだつた。空港から出た後、外に出た時、思つていたよりも寒くてびっくりした。日は照つていて結構暑い感じがするのに、風が強く、冷たくて変な感覚だつた。寒いのは本当に苦手だけど、日本の酷暑に比べたらいくぶんもマシだと思う。ホストファミリーの家までの道中、道路の様子や車、植生を観察した。意外だったのは、道路が日本と同じで左側通行だつたことだ。バス内でさきちゃんと話していると、ホームステイ先がかなり近いことが判明して少し安心した。家に着いた後は、マザーガホットドッグを作ってくれた。めちゃめちゃおいしかつた。日本からのお土産として、祖母が書いてくれた水墨画と、祖母の作った器をプレゼントした。どちらも喜んでくれて、とても嬉しかつた。祖母にも早く伝えたい。

# 04 活動日誌

7月21日（月）

田中（萌）

今日は初めて大学へ行きました。大学へ行く道はホストシスターが一緒に行ってくれました。とても優しいなと思いました。大学はとっても広くて自然が多くてとてもよい環境だと思いました。これから迷わないように頑張ります！

成清

今日から学校が始まりました。Hew先生という男性の先生で明るくて、2週間とても楽しくなりそうだなと思いました。午前中は大学で使うアプリの設定などをしました。お昼はホストファミリーに用意してもらったランチを食べました。量がとても多くて食べきれませんでしたが、おいしかったです。午後からはHew先生とニューカッスル大学の学生さんに大学内を案内してもらいました。大学内はとても広くて、歩くのが大変でした。3時ぐらいに授業が終わって私は小野さん、油利先生と一緒に日英クラブ（※ニューカッスル大学のクラブ活動）に行きました。沢山人がいてとても緊張しました。日英クラブには日本人の方もいて、いろんな話を聞くことができて良かったです。でも海外の人は英語を話すスピードが速いので全然聞きとれませんでした。でも、日本人の方が翻訳してくれて、少し会話に入ることができました。最後にUNOをしました。最初は緊張したけど楽しむことができて良かったです。次行くときはもっとコミュニケーションをとれるように頑張りたいです。

橋本

今日は初めて学校へ登校しました。朝ご飯もしっかり食べて、余裕をもって準備できたので良かったです。学校まではホストファミリーが送ってくれました。やはり町並みが日本と全然違うので、慣れるまでもう少しかかりそうです。ランゲージセンターでみんなと合流できました。昨日の出来事を話したりしてとても盛り上りました。今日の授業は、オリエンテーションとキャンパスツアー！広すぎてたくさん歩きました。初めての体験をしているなど改めて実感し、とても楽しかったです。キャンパス内には様々な店がありました。食べ物から制服、ぬいぐるみまでほんとうに様々です。2週間あるので、興味のある店をゆっくり見学して、ほしいものを買いたいと思います。またランチは何人かで一緒に食べました。ホストマザーが作ってくれたサンドイッチと果物、ヨーグルト、お菓子を持たせてくれました。日本と違いすぎてびっくりというかおもしろいです。ヨーグルトはスプーンがなかったので、リンゴジュースについているストローを使いました。笑 とてもおいしかったです。夜はマザーの料理の手伝いをしました。内緒でベーコンの余りもくれて、しぐさがかわいらしかったです。チキンにパイナップルとチーズが乗っている料理で、合うの！？と思ったけどとてもおいしく食べられました。ファザーとはバスケや柔道の話をして盛り上りました。動画も調べてたくさん見せててくれてずっと笑ってました。楽しかったです。その後、昨日機会を逃してしまったので、お土産を渡しました。おにぎり柄のおそろいのハンカチやお菓子、習字などをプレゼントし、とても喜んでもらえたので良かったです。お孫さんには、日本語のシールとポケモンのトレッタをあげました。やはりポケモンはうけが良かったです。一緒に写真もとれたので嬉しかったです。おれにアイスに盛りだくさんのフルーツを乗せたものを出してくれました。本当においしかったです。今日はホストファミリーと仲の深まった一日でした。明日からはバスで行かないといけないけど、フェイバー（※ナイジェリアからの留学生）が一緒に行ってくれるそうなので少し安心です。頑張ります！

# 04 活動日誌

7月22日（火）

## 道上

今日は大学2日目でした。

今日は初めて大学のカフェで注文をしました。とても緊張したけど店員さんがとてもフレンドリーで会話をすることができました。その後図書館で日記を書く宿題をしました。田中（萌）さんと行ったけど爆睡していておもしろかったです！

帰宅する時初めて歩いて家に帰りました。信号が変わる時間がとても早く驚きました。歩道を歩いていたら突然道路になって渡ろうとした時にクラクションを鳴らされて恐ろしかったです！

夕食を食べた後、マザーと息子さんと3人でジムに行きました。ジムでは音楽に合わせて踊るもので見た目以上に疲れました。オーストラリアのジムに行くことはなかなかないのでとても貴重な経験でした。

## 盛橋

今日は、3日目です。朝は洗濯をしました。初日に教えてもらつてはいたのですが、全然慣れなくて、難しかったです。今日は迷わず大学に着くことができました。今日から普通に授業が始まったのですが、小野さんと油利先生が突然いなくなつたので、すごく驚きました。全くわからないだろうと思っていた英語オンラインの授業も案外なんとかなりました。海での表現を学ぶ授業でした。shouldやcan、will等の助動詞や時制等の文法を学ぶような内容もありました。日本もこういう授業をすればいいのにと思いました。今日もまた間違えたバスで帰つてしまい、予定より1時間以上遅れてしまいました。今日の夜は、パスタとガーリックトーストを食べました。おいしかったです。お土産として持つていった、ハンバーガーやピザが作れるシールで娘さんたちがケンカになつてしましました。気に入ってくれたことはとても嬉しかったですが、2つ持つっていくべきだったなと思いました。

## 大橋

今日は、大学に行くのが2日目で少し緊張していましたが、わくわくもしていました。今日はオーストラリアのビーチのルールを学びました。特にYou should swim between the yellow and red flags.という文が印象に残っています。他にも様々なルールがあり、ビーチで泳ぎたいときは注意しないといけないなと思いました。

今日も友達とお昼を食べました。その時にマグパイやクカバラなどのいろいろな鳥が見られたので嬉しかったです。お昼を食べ終わつた後、缶バッジを作りました。とてもかわいいので学校につけていこうと思います。オーストラリアが楽しくて、せわしなくなつてるので落ち着かないといけないなと思いました。

河村

待ちに待ったホエールウォッチングの日でした。ボートに乗って岸から遠く離れたところまで移動しました。スピードが速く、浮遊感まさに楽しめました。そして、クジラを近くで見ることができました。潮を吹いていたり、群れで泳いでいたりとおもしろかったです。大きなタンカーの先頭で寝ているアシカも見ることができました。海上は風が強く寒かったけれど、間近で見ることができて本当に良かったです。

午後の授業では、良いプレゼンテーションにする方法や、発音の上達方法を学びました。動詞や名詞を強く発音すると良いことがわかり、とても勉強になりました。

授業後は、友達と近くの「Woolworth」という大きなスーパーマーケットに行って、お土産のお菓子をたくさん買いました。どの商品も日本より大容量で、コストコみたいでした。お菓子も種類がたくさんありすぎて、選びきれませんでした。楽しかったので、また行ってみようと思います。

#### 今日学んだこと

- 自分は酔い止め必須！（飲んでも酔った）
- 動詞や名詞、形容詞などを強く発音する！
- スーパーは広い、大容量、チョコ系のお菓子が多かった！
- 無料の果物コーナー（子ども向け？）があった！
- バスが来ないときもある
- 11番バスは無料（？）

#### 食事

- 朝：トースト、牛乳、バナナ  
(ベジマイト、マーマレード、ブルーベリージャム)
- 昼：Frittata、ナッツバー、リンゴ、のり、スナック
- 夜：ラビオリのトマト煮、サラダ



ポートから望むニューカッスル市

# 04 活動日誌

7月23日（水）

工藤

朝の8:00集合だったので今朝は5:00に起きました。ホストマザーは起きていませんでしたが、もう少ししたら起きてくるだろうと思って起こさなかったら、ホストファザーが起こしてくれました。私はよくホストファザーに“恥ずかしがり屋だ”と言われるのですが、私自身どこまでOKで、どこからが失礼にあたるのかの境界線が分からなくなと思いました。これも文化の違いなのか、それともそれほど私を家族として受け入れてくれるのか分かりませんが、思ったことはすぐ行動に移したいと思います。

午前中のホエールウォッチングでは昨日行ったノビーズビーチに行き、スピードボートに乗りました。船は想像以上に速く、潮風を浴びながら美しい景色を見ました。運よく晴れで、空がとても澄んだ青で海も映っていました。クジラも案外近くまで来てくれたので嬉しかったです。しかし波があり船が大きく揺れていたので酔いそうになり、帰りはずっと目をつむっていました。なかなかできない経験ができて良かったです。



出港前



帰港後

竹永

春になるらしく、外は朝でもあまり寒くないように感じる。大学内はあまり人がいなかつたので、のんびり景色を見ながら登校した。

ホエールウォッチングではたくさんクジラを見ることができて嬉しかった。船はすごく揺れて、まるでジェットコースターに乗っているようだった。港近くではペリカンを見ることができ、カッタ君を思い出した。船から見た街並みや教会などがとてもきれいで、様々な観光名所を眺めることができた。冬なのに海で泳いでいる人がたくさんいてびっくりした。クジラが泳ぐ姿はとても雄大で感動した。潮を吹きながら2～3頭の群を成して泳いでいるのがとてもかっこ良かった。近くに行けた時に潮を吹く音が聞こえた。初めて船に乗って沖に出たのでとてもわくわくした。

昼頃に大学へ戻って昼ご飯を食べた。ホストマザーがサンドイッチを作ってくれたので嬉しかった。中に入っていたピクルスのソースがとてもおいしかった。

# 04 活動日誌

7月24日（木）

田中（蒼）

今日はコタラハイスクールとの交流日です。昨日、コタラハイスクールへの行き方をコタラハイスクールの友達に尋ねたところ、いろいろあって、その子のお母さんがコタラハイスクールまで送ってくれることになりました。その子が宇部高校に来た時はあまり話せなかったのに、自分のことを覚えてくれたことがすごく嬉しかったです。コタラハイスクールの近くに着いた時、その子（ユランダちゃん）とその友人がドーナツを買ってきました。あったかくて、とてもおいしかったです。コタラハイスクールでは、自己紹介の後、校内案内をしてもらったり、オーストラリアのお菓子についての授業を受けたりしました。ベジマイトは一生食べたくないかも。（濃度を上げた“ごはんですよ”的がしました）おやつ休憩の時間に自己紹介、そして年齢を尋ねられたので18歳と答えると、めちゃくちゃ驚かれました。何歳に見えていたのか気になります…^^

オーストラリアの子たちはみんな大人っぽくて、かわいい子ばかりです。



コタラハイスクールでの交流の様子

田中（萌）

今日はコタラハイスクールに行きました。

私はもともとコタラハイスクールに友達がいたので久しぶりに会えてとっても嬉しかったです！！お昼休みに一緒にBBQのごはんを食べたり売店に行ったりおやつを食べたりして、1日だけじゃなくてもっといたいなと思いました。また、コタラハイスクールの子たちはとても元気いっぱいでみんなと友達になりたいくらい素敵な学校でした。

帰りに大きなショッピングモールに行ってアイスを食べました。スモールなのに大きく海外☆を感じました。

# 04 活動日誌

7月24日（木）

成清

今日はコタラハイスクールに行きました。中に入って行くと、たくさんの生徒さんが日本語でおはようございますと言ってくれて、とても歓迎してくれて嬉しかったです！！コタラハイスクールの生徒さんに、日本語と英語で歓迎の言葉をもらいました。日本語がとても上手でびっくりしました。その後、コタラハイスクールを案内してもらいました。日本と高校の様子が全然違っておもしろかったです。次に中学生の日本語クラスで一緒に授業を受けました。日本語で質問されて、その質問に答えたりしました。その授業が終わった後、RECESSというおやつタイムがあり、コタラハイスクールの子と一緒におやつを食べながらいろんな話をしました。たくさん日本語でしゃべってくれて嬉しかったし、自分ももっと英語を頑張ろうと思いました。次に味の表現について学びました。そこで、オーストラリアの有名なお菓子を食べながら、甘い、しそっぽいなどの色々な味の表現を学ぶことができました。私は苦手でしたが、ベジマイトに挑戦できて良かったです。次に図書館に行って、中学生と一緒にKahoot!というゲームをしました。意外に問題が難しかったけど、協力して取り組めて楽しかったです。お昼にはBBQをしました。RECESSという時間に一緒におやつを食べた子もいて、一緒に食べました。お菓子やミートパイなど色々な食べ物があって、どれもおいしかったです。その後の授業では、高校生と一緒に授業をしました。日本語が上手で、すごいなと思いました。授業はどれも楽しくて最高の一日でした。また、放課後には、すぐ近くにあるショッピングモールに行きました。色々なお店があって、見て回るのが楽しかったです。



味の表現を学ぶ

# 04 活動日誌

7月25日（金）

橋本

今日は金曜日！もう1週間がたちました。とても早いです。午前中の授業は、プレゼンテーションで使える文法やシチュエーションの練習でした。どの順番で言うのがベストか、また、どんな風に言えば良いのか、しっかり学ぶことができました。私のグループのお題は、オーストラリアの野生動物です。2人で話して、コアラとカンガルーとエミューとクロッカの4つに決まりました。良いプレゼンができるように、スライドや文章の準備を頑張りたいと思います。昼にはトルネードポテトを買って食べました。オーストラリアには7月にもクリスマスがあるらしくて、それが今日です！たくさんのお店が大学内に来ています。午後の授業は、大学生がレストランの注文方法を教えてくれたり、一緒にクイズやUNOをして遊びました。たくさんコミュニケーションがとれて仲良くなれたので良かったです。放課後はみんなでクリスマスパーティーに行きました。お菓子やホットチョコレートをもらったり、なんとプレゼントまでもらいました。とても楽しかったです。7月にもクリスマスがあるなんてうらやましいな、と思いました。夜はレストランに行きました。とても緊張したけど、ホストファミリーの友達も来て一緒に食べたので、知らない人と話すいい経験になりました。周りがオールEnglishなので、何を話しているのか、ほぼ分からなかったです笑でも、リスニング力が少し上がった気がします。ちょうど今日の授業で習ったので、食べたいものは自分で伝えることができました。嬉しかったです。もっと英語力を上げていろいろな人とコミュニケーションをとりたい、と思いました。

道上

今日は7月のクリスマス会がありました。キリスト教を信仰している人々で、南半球に住んでいる人は、12月25日が夏だから、冬である7月25日に7月のクリスマス会を開くそうです。クリスマス会には、ホットチョコレートやお菓子、プレゼントがありました。プレゼントは、それぞれ一人ひとりクジを引いて選びました。私はバスケットボールを引きました！！家に帰ったら飾りたいと思います。とても楽しい思い出ができた、参加できて、とても嬉しかったです。



トルネードポテト

盛橋

今日は、プレゼンのグループ決めをしました。あみだくじをしたら、ヒュー先生にすごく不思議な物を見るような目をされました。オーストラリアにはあみだくじはないようです。午後は、SEPの人とレストランで注文する為の表現を学びました。日本ではまったく聞いたことのない料理がたくさんあっておもしろかったです。その後はUNOをしました。大盛り上がりで楽しかったです。前回の時よりSEPの方と話せたと思います。その後は、クリスマスインジュライのパーティーに参加しました。オーストラリアでは、クリスマスが夏だから、冬にクリスマスパーティーをしたいという人が一定数いるらしいです。プレゼントは、辞書をもらいました。びっくりしました。本当におもしろかったです。辞書はしっかり持って帰ろうと思います。

# 04 活動日誌

7月26日（土）

## 大橋

今日の朝、ホストマザーと一緒にスーパーマーケットへ行きました。トマトソースとかぼちゃとパンといろいろなものを買いました。ショッピングカートがなかなか大きくて、動かすのに苦労しました。

家に帰りお昼を食べました。ホストマザーがチキンハンバーガーを作ってくれました。ハンバーガーとポテトがついており、両方ともすごくおいしかったです。

お昼を食べた後、またビーチへ行きました。今回は前回と違い、ビーチ付近を散歩しました。たくさんの中が見れたので写真をいっぱい撮ってしまいました。やっぱりビーチがきれいいい人たちはかりなんだなと思いました。

家に帰り、バードウォッキングをしました。私の家にはとても大きな木があり、よくそこに鳥が止まっています。今日は鳥がたくさんいてパンを食べていました。一生懸命食べる姿がかわいかったです。

## 工藤

ホストファミリーは金・土・日の夜中に仕事に行くため、午前中は寝ており、初めて一人で朝ごはんを食べました。ホストファミリーが私の席にカトラリーとお皿を置いておいてくれ、優しさを感じました。ホストマザーが起き、トーストと卵とベーコンを焼いてくれました。とってもおいしくて絶賛ハマリ中です。^^

ごはんを食べた後、ホストマザーと一緒に買い物に行きました。私がずっと行きたいと思っていたT2（※オーストラリア・メルボルン発祥の紅茶ショップ）でお土産を買えたので良かったです。結構大きめのモールでいろんなお店を見てきました。先日友達とショッピングセンターで服屋に行った時にジーンズを買おうか迷って最終的に買えなかっただので今日買いたいなと思って服屋を巡りました。形や色が好きでも値段が可愛くないものが多く、なかなか決まりませんでした。結局先日行ったところと同じ店でハーフパンツのジーンズを買いました。そこでTシャツも買えたので満足です😊

夜ごはんを食べた後はアイスを食べながら映画を見ました。日本ではあまり箱のスプーンですくって食べるようなアイスを買わないので新鮮でした。あんなに大きいとついついたくさん食べてしまいそうです。

# 04 活動日誌

7月26日（土）

河村

今日はホストマザーと1日ニューカッスルを観光しました。最初にキリストチャーチ大聖堂に行きました。外観がまるで城のように巨大でとてもおしゃれでした。中にはきれいなステンドグラスやキリスト教に関するいろいろな展示がありました。ホストマザーにどうやってお祈りするのかも教えてもらいました。

次に、近くを散歩しつつミートパイを食べました。上にpeasという枝豆ペーストのようなものが乗っていておいしかったです。

次に、アンザックメモリアルウォークという、第一次世界大戦の犠牲者を追悼する記念ロードを歩きました。そこはビーチの近くなので、橋からきれいな街並みを一望できました。とても気持ち良かったです。

そして、近くのアサイー専門店に行って、アサイーボウルを注文しました。一番小さいサイズにしたのに、それがとても大きかったです！たくさん歩いてきれいな景色も見ることができて良い1日でした。

今日の学び

- ニューカッスルは第一次世界大戦の重要地だった！
- （豪）小さいサイズ→（日）大サイズ！！
- 中学4年、高校2年、小学校は5歳から
- 学校で宗教を学ぶところあり
- 原爆ドームの追悼式が教会で開かれる！（8/3）

食事

朝：バゲット、マーマレード、グリークヨーグルト、はちみつ  
昼：ミートパイ、アサイーボウル

# 04 活動日誌

7月27日（日）

竹永

今日はニューカッスルのビーチを中心に観光地を見て回った。最初はビーチに行った。今日はとても風が強かったので灯台まで行くことはできなかつたけどとてもきれいだった。またニューカッスル・アンザックメモリアルウォークにも行った。とてもきれいで、町中の景色を見渡すことができた。また、ニューカッスルミュージアムにも行った。ニューカッスルが工業と共に発展していった町だと知ることができた。

田中（蒼）

今日は早起きをして、ブルーマウンテンズ（※ブルーマウンテンズ国立公園を含む、原生林に覆われた100万ヘクタールに及ぶ広大なエリアー帯を指し、世界自然遺産に登録されている）へ向かった。5:00に起きたので、車の中でずっと寝てしまっていた。ブルーマウンテンズに着いた時、急に寒さで目が覚めた。山の上は本当に風が強くて、すごく寒かった。売店で防寒具を買うか迷うくらいには寒かった。

まずはレールウェイに乗って、下の方へ行った。角度はすごく急だったので、スピードはすごく遅くて、なんだかおもしろかった。次に、ロープウェイに乗って、お土産屋さんに行つた。そこで、たくさんのかコアラのぬいぐるみを買うことができた。🛍️ 店員さんがとても優しくて、嬉しい気持ちになった。帰りには、UGGブーツの店に寄つてもらった。中には毛皮の敷物も売つてあって、少しショッキングだった。



ブルーマウンテンズのスリーシースターズ

田中（萌）

今日はホストシスターのAFL（※Australian Football Leagueの略）の試合を見に行きました。そもそもAFLがどんなスポーツかわからない状態で見てみるとラグビーのようで女の子がラグビー（？！）となって驚きました。カルチャーショックですかね。でも試合する場所が片道2時間かかり少し遠かったのですが、その間ホストマザーやシスターと日本の話やオーストラリアの話で盛り上がり上がってとても楽しかった1日でした。

# 04 活動日誌

7月28日（月）

## 成清

今日の午前中はニューカッスル大学の学生さんが来てくれて、オーストラリアのスラングを学びました。初めて聞くものばかりだったので、スラングについて学べて良かったです。その後に、復習でゲームをしました。ヒントを英語でうまく伝えるのが難しかったです。その後、オーストラリアのオリジナル国旗を作りました。皆それぞれのデザインでオーストラリアを表現していて良かったです。午後はニューカッスル大学の日本人准教授のKiwa先生の授業に参加させてもらいました。その学生さんには様々な年代の方がいました。日本語が上手な人、手話ができる人もいて、また会話をすることができて、とてもいい時間になりました。また、放課後には平和を願うための折り鶴のプロジェクトと日本語英語クラブがありました。プロジェクトの方では、鶴を沢山作ったり、大きな鶴につける羽に自分の願いを書いたりしました。クラブの方では、学生さんの名前を漢字で書いてあげたり、折り紙と一緒にしたりしました。学生さんと楽しむことができたし、前より少しだけ会話ができるので良かったです。

## 橋本

今日は月曜日。留学もあと一週間になってしまいました。午前中は、オーストラリアのスラングについて学びました。オーストラリアで使われている英語は特殊で、Afternoonをarvoと言ったり、Thank youをTaと言ったりします。たくさん教えてもらったので使ってみたいです。ホストファミリーとの会話でも出てくると思うので、意識して聞いてみようと思います。そしてランチの時間。土日をはさんだので、ランチが日々に感じました。今日もおいしかったです。油利先生がケバブを少し分けてくれて、みんなで食べました。マスターが効いていて、私はとても好きでした。食べられて良かったです。午後は大学の日本人教授の先生の授業を海外の人と一緒に受けました。第二言語の取得を目指して、たくさん英語で話せたので良かったです。放課後は、折り鶴を折りました。すごく大きいバージョンもあったのでびっくりしました。私たちは鶴に貼れるように、紙に願い事を書いてデコレーションしました。かわいくできたので良かったです。大きい方にもみんなで落書きをして楽しみました。こんな経験ができると思ってなかったので、すごく貴重でした。参加できて本当に良かったです。明日はニューカッスルハイスクールに行きます。放課後にはアイスクリーム屋にも行けるそうです。同学年生との会話や体験を楽しみたいと思います！

## 道上

今日は授業でオーストラリアのスラングについて学びました。オーストラリアでは多くのスラングが会話に使われています。たまにオーストラリアの人々と話すと、聞いたことがない単語を聞くことがあったので、疑問が解決できて良かったです。またオーストラリアにもう一度訪れるときにスラングを使って会話をしたいです。

# 04 活動日誌

7月29日（火）

## 盛橋

今日は、ニューカッスルハイスクールに行きました。コタラハイスクールとはまた違って、大きな門があつて、パスポートを提出して中に入りました。一つ一つの大きな建物が独立していくつかあるような感じで、とても広かったです。日本語のクラスにおじゃまさせていただいて、アンザッククッキーとリプトンのレモンティーを食べました。リプトンのレモンティーはあまり好きではなかったです。ニューカッスルハイスクールもコタラハイスクールのように会話表現に重点を置いたスタイルの授業で、学生さんたちとお話をしました。「何歳ですか?」という表現の歌とかもあって、おもしろかったです。函館から來ていた日本人の留学生もいました。自分たち以外の日本人がいて新鮮でした。最後に体育の授業があつて、サッカーをしました。とても楽しかったです。放課後はアイスを食べに行きました。他校の日本語コンテストで優勝したという人もいて、すごく日本語が上手でした。

## 大橋

今日はニューカッスルハイスクールを訪問しました。私たちは日本語クラスに参加しました。一番最初はアンザッククッキーと紅葉みたいなのを楽しみました。その後、ニューカッスルハイスクールの生徒さんに学校案内をしてもらいました。学校内にはアボリジニアートや日本の浮世絵みたいなものなどがたくさんあり、いろいろな文化が融合していておもしろいなと思いました。最後の授業は体育で、サッカーをしました。私には少し難しかったです。



日本語の授業と一緒に受ける



目隠しをして日豪のお菓子を食べ比べる

## 河村

ニューカッスルハイスクールに行きました。日本語と英語で交流したり、お菓子を食べたり、体育の授業に参加してサッカーをしたりしました。みんな積極的に話しかけてくれて嬉しかったです。スポーツを通していろいろ話ができるので素晴らしい方法だと思いました。その後は、生徒たちと近くのアイスクリーム屋さんに行きました。種類がたくさんあったので選ぶのが難しかったけれど、ティラミス味にしました。シナモンが効いていてとてもおいしかったです。1つの量がとても大きくて驚きました。食べながらいろいろな人と交流できて、インスタ交換もたくさんできて嬉しかったです。そして、友達とスーパーに行って、お菓子やお土産を買いました。初回よりも手際よく買うことができた気がします。隣にマクドナルドがあるので、夜はマックで食べました。オーダーはパネルだったので、システムに不慣れで大変でしたが、ちゃんと注文できました。味は普通においしかったです。ポテトが日本の味と少し違いました。そして、カリカリでした。帰りのバスも正しく使えたので、バスでの移動に自信がつきました。明日から最終日までずっと天気が悪いみたいですが、回復することを祈るばかりです…。

## 今日の学び

- ニューカッスルハイスクールはコタラハイスクールよりも落ち着きがある。広い。
- 高校だけど小さい子もいた。
- 学食は日替わり。安い。
- 日本の調味料めっちゃ売っている！
- マックの店内ごみだらけ。汚い。食べ物は普通だけ少し雑。

## 食事

朝：マフィン、チーズ、はちみつ、

ブルーベリーヨーグルト

昼：ケバブ、ナツツバー

夜：マックのバーガー



体育の授業



放課後に行ったアイスクリームショップ

# 04 活動日誌

7月30日（水）

工藤

午前中の大学での授業はオーストラリアの動物についてでした。コアラやコッカトゥーなどオーストラリアに生息する動物を通して、それぞれが持つ爪や鶲冠の名前を学びました。授業の中でそれらの名前とイラストを書いたカードを作りました。自分はゲームで思っていたよりも早く修得できました。お昼ごはんを食べた後はブラックバットリザーブへと行きました。そこへ着いたところから鳥がいて、自由さに驚きました。坂を上り、エミューやカンガルーを見る事ができました。そこは高い木がたくさん生えており、本当の野生生息地域に来たような気持ちでした。私たちは屋根のあるところへ行き、座って待っていると、ショーのようなものが始まるかのように飼育員の方々が出てきました。そこでは、しっぽの短いトカゲやカメやヘビと触れ合うことができました。私が最も気に入った場所は、コアラのいるところです。直接触ることはできませんでしたが、コアラの寝顔や丸々とした体を見てとても癒されました。

竹永

今日はブラックバットリザーブに行った。そのために午前中の授業では動物の名前や体の器官などを英語を通して学んだ。くちばしや巣穴など聞き馴染みのない単語も多く、たくさん新しい単語を知ることができた。授業の後半では、学んだ単語を使ってカルタをした。みんなでカードにイラストを描いたり、実際にゲームをしたりするのはとても楽しかった。午後からはブラックバットリザーブに行った。入り口近くのカフェに大きなクジャクがいて驚いた。初めて至近距離でクジャクをみることができて嬉しかった。爬虫類と触れ合うことができるコーナーでは、大きなヘビやトカゲを触った。飼育員さんのお話のなかに午前中の授業で習った単語が出てきてスムーズに理解することができた。コアラやカンガルー、エミューなどオーストラリア固有の動物たちをたくさん見ることができた。コアラはとてもふわふわしていて可愛かった。ユーカリの葉を一生懸命食べていたり、眠っていたりする様子を見られて嬉しかった。

田中（蒼）

今日の朝もまたバスが来なかつた。だから、さきちゃんと一緒に歩いて大通りのバス停まで向かった。そのバス停まではとても急な坂があつて、通る度に息切れがするので、あまり通りたくなかった。バス停に着いた後、時間になつてもバスが来ず、とても寒かっただので暑れたい気分だった。周りに人もいないし、自由なオーストラリアなので、少し叫んでみた。その後は無事にバスが来て、なんとか学校に到着した。今日の授業は、午後のブラックバットに向けての単語学習だった。知らない単語ばかりで、新しい知識が一気に増えるのが嬉しかつた。午後は楽しみにしていたブラックバットを行つた。初めてコアラを生で見て、すごく感動した。は虫類ショーの時に普段は中々触ることができない生き物に触れられたのが、すごく嬉しかつた。念願のヘビだっこを経験できて、すごく良い時間だった。



ブラックバットリザーブでの様子

# 04 活動日誌

7月31日（木）

田中（萌）

今日は大学でKahoot!をしました。みんな負けず嫌いで、でもとっても強い不動の1位もいたのですが、小野さんや油利先生も入ってみんなでやったのがとてもおもしろかったです。ほとんどみんなプレゼンの資料など終わっていなかっただけど楽しすぎてKahoot!を何回もしました。とっても楽しい1日でした。でも、そろそろ日本食が恋しい(;‐;)

成清

午前中はプリントに書かれた動物の絵を見て、その単語を書くゲームをしました。お昼はパスタやチョコ、ビーフジャーキーを食べました。午後はニューカッスル大学の学生さんと一緒に授業をしました。体をつかった動物の名前のゲームなどをしました。また、コタラハイスクールに行った時にやったKahoot!をやりました。皆で競い合いながらオーストラリアに関する知識を増やすことができたので良かったです。明日が最後の大学なので、全力で楽しみたいと思います。また、今日はホストファミリーのお姉さんのダンスを見に、シドニーへ行きました。夜ご飯はベトナム料理店で食べました。私はうどんっぽいものを食べました。とても量が多くて食べきれませんでした。7時半になってダンスが始まりました。40人以上の団体のパフォーマンスでとてもキレイが良くてかっこ良かったです。お姉さんのソロもすごくキレイで圧倒されました。観客の盛り上がりもすごくて、さすが海外だなと思いました。あっという間に1時間のパフォーマンスが終わりました。ダンスを見に行ったり帰りにシドニーにあるチャイナタウンに連れて行ってもらいました。夜はこの前行った時とまた雰囲気が違って、歩いて回るのが楽しかったです。ホストマザーがおやつを買ってきて、それを帰りに食べました。お姉さんのダンスを見に行くことができて良かったです。

橋本

今日の午前中は、先生が書いた絵のパート部分の英語をスペルで答えるというゲームをしました。早い者勝ちの勝負だったので、とても白熱して盛り上りました。たまに先生の書いた絵が何か分からなくて、みんなでフリーズする時間があったのがおもしろかったです。その後は明日のプレゼンの準備をしました。私のテーマはオーストラリアのwild lifeです。カンガルーとクオッカについて話す予定なので、それについて調べて英文を作りました。スライドも作って、無事余裕を持って終わらせることができました。あとは発表する練習をして、本番に挑みたいと思います。今日もランチを食べ、残りの時間をゆっくり過ごしました。午後からは学生さんによるラストの授業でした。Kahoot!というコタラハイスクールの時にもやったゲームをしました。これが本当におもしろくて、とても盛り上りました。1回1位を取れたのが嬉しかったです。みんなはまったので、このゲームをダウンロードまでしました笑 機会があればぜひやりたいです。楽しい時間を過ごすことができました。放課後はニューカッスルで最後のショッピングに行きました。一人で行ったので、見たいものに時間をゆっくり使って、欲しいものをたくさん買いました。バスの使い方やショッピングモールでの支払い、移動なども心配なくできたので、すごくオーストラリアの生活に慣れたなと感じました。楽しかったです。最後行くシドニーでもショッピングできるので、買いたいものは買おうと思います！明日はラストの大学。さみしいけど楽しめます！プレゼン頑張るぞ！

# 04 活動日誌

8月1日（金）

道上

今日は最後の授業でした。大学に行くのが最後と考えるととてもさびしく悲しかったけれど、プレゼンが楽しみだったので楽しく行くことができました。プレゼンは各グループごとですばらしい発表がありました。特に印象に残ったグループはニューカッスル市の有名な場所についての発表で、もう一度訪れた際に参考にしたいです。発表の後昼ごはんの時間では最後にみんなで食べました！その後、午後の授業で修了証を受け取り、みんなでオーストラリアのお菓子や果物を食べて会話を楽しみました！オーストラリアでの思い出を振り返るいい時間でした！とても充実した大学での授業をうけることができ、本当に良かったです。また大学に行きたいです。

盛橋

今日はプレゼンの日です。朝から大忙しでドタバタしていました。いざ大学に着いて授業が始まったら、ヒュー先生にスライドが送れないという問題が発生しました。なんとか送って、プレゼンが始まったら、皆完成度が高くて驚きました。私のプレゼンの時は、緊張して前が見れず、変なことになってしましましたが、無事に終わって良かったです。最後の日だったので、皆でお昼を食べました。とても楽しかったです。午後からは、卒業証書のようなものをもらって、プチパーティーをしました。Kahoot!をやったりもして、とても楽しかったです。大学から帰宅するのは、とても名残惜しかったですが、まだパッキングが終わっていなかったので泣く泣く帰りました。帰宅後はずっとパッキングと部屋の掃除をしていました。夜は、ソーセージシズルとパブロバを食べました。パブロバがすごく甘かったけど、おいしかったです。ご飯の後は、ボードゲームをしました。すごく楽しかったです。ゲームが終わった後にプレゼントをもらいました。手紙もついていて、読みながら泣いてしました。本当に寂しいし、帰りたくないなと心から思いました。温かいホストファミリーで、本当に良かったです。

大橋

今日はランゲージセンターに通う最後の日でした。午前中は2週間かけて作ったプレゼンテーションの発表をしました。やはり英語の発音は難しかったけれど、自分の全力を出せたので良かったです。午後の授業では、修了証書をもらい、アフタヌーンティーを楽しみました。修了証書をもらうことで、帰国が近づいているんだなと思いました。ホストファミリーとも明日でお別れです。たくさんの感謝を伝えようと思います。



最終プレゼンテーション

# 04 活動日誌

8月2日（土）

河村

朝早くにホストファミリーとお別れをしました。お互い抱き合って「また会いましょう！」と言って別れました。さみしく思いましたが、また会えることを信じてニューカッスルを後にしました。シドニーに到着し、雨天ルートで観光をしました。ゲートウェイ（※商業施設）でお土産を買ったり、昼食にバーガーを食べたりしました。次に、ガバメントハウス（※シドニー総督官邸）に行きました。中がとても豪華すぎて、超貴族になった気分でした。絵がたくさんあったり、天井や床まで細かい模様が描かれてあったり、とても凝ってて、すごいなと思いました。G7みたいな集合写真も撮れて楽しかったです。そして、オペラハウス周辺に行ったり、博物館やセントメアリー大聖堂の外観を見たりしました。雨もほぼ降らなかったのでラッキーだったし、最後に良いものが見られて楽しかったです。シドニー空港で少し夕食をとり、飛行機でオーストラリアを離れました。まだいたい気持ちが大きく悲しかったです。でも2週間頑張った自分を誇りに思いました。行きよりは寝れたし、短時間に感じました。

今日の学び

- 朝余裕を持つべし。ちゃんとお別れする時間がなかった。
- パッキングは早くからやるべし（できたから良かった）
- 部屋は頻繁に掃除してきれいに使うべし（掃除大変だった）
- 折りたたみ傘重宝した

朝：セサミバゲット、ヨーグルト、オレンジジュース

食事 昼：Oporto（※シドニー発祥のハンバーガーチェーン店）バーガー、ポテト

夜：フリタータ、機内食

工藤

朝早く起きたのに意外にも時間がなくて少しバタバタしました。1週間前はもう日本に帰りたいと思っていたましたが、今日はまだオーストラリアにいたいという気持ちが大きいです。お迎えの車が予定より早めに來たのでしっかりとホストマザーに言葉で伝えきれなかったところはありますが、お手紙を書いたので後悔はありません。また、先日ホストファミリーに日本食をふるました際、おいしいからどうやって作るのかレシピを書いてほしい！と言われたので、たまご焼き、お味噌汁、出汁の作り方を書いたノートを日本のお土産と一緒に渡しました。渡したのが出る直前だったのでその中身を見た反応は見ることができませんでしたが、喜んでくれていたら嬉しいです。シドニーまでは、2週間前より圧倒的に早く感じました。3歳の時に來たオペラハウスで同じところで写真を撮ったり、いつもなら入ることが難しそうなところで歴史を学び、とても充実した一日でした。✨☺

竹永

朝ホストマザーと別れてシドニーに向かった。ホストマザーにメッセージカードを渡したら喜んでくれて嬉しかった。電車でシドニーに行った。初めて2階建ての電車に乗った。昼食は自由だったので友達と一緒にガレットを食べた。昼食後、ガバメントハウスやオペラハウスに行った。ガバメントハウスではツアーをしてもらい、内観も楽しんだ。オペラハウスでは皆で集合写真を撮った。夕方にはオーストラリア博物館とシドニー・セントメアリー大聖堂に行った。大聖堂は結婚式を挙げていた関係で中に入ることが叶わなかったけど、祝福の鐘が鳴らされていたのが印象的だった。博物館の方は、とても大きくて時間内に全て見ることはできなかつたけど、恐竜やオーストラリアの動物などの展示を見ることができた。その後、シドニー空港に行った。



シドニー観光の様子

# 04 活動日誌

8月3日（日）

---

田中（蒼）

羽田行きの飛行機はポケモン仕様ですごくかわいかった。席は行きとは違ってみんな近かったので安心しました。羽田に着いた時には足がむくみすぎて、靴を履けませんでした。ロビーに着いた後は久しぶりの日本食を食べました。本当においしかったです。宇部空港に着くと、みんなのお母さんやお父さん、市役所の方が出迎えてくれて嬉しかった。

田中（萌）

今からまた9時間のフライトです。でも今回は一緒に行つたみんなが近くて、とても安心したフライトを過ごせました。機内食をワイワイ食べて（迷惑にならない程度で）楽しかったです。でもシドニー疲れがあり、みんなすぐに寝ていました。居心地がとても良かったです。

成清

朝は、着陸の1時間ぐらい前まで寝て、そこからは、あっという間に東京に着きました。着いてすぐに蒸し暑い空気が流れてきて、日本に戻ってきたんだと感じました。羽田では久しぶりのおにぎりを食べました。日本の米はやっぱりおいしいなと思いました。そして、12時過ぎに山口宇部空港に着きました。無事家に帰ることができて良かったです。

8月8日（金）

---

盛橋

今日は、TOEIC Bridge®のテストを受けました。微妙です。伸びたのか下がったのかよくわかりませんでした。皆元気そうで良かったです。終わった後千華ちゃんとコンビニに寄ったのですが、のりかちゃんと合流して、のりかちゃんとお母さんに連れて帰ってもらいました。感謝です。

# 05 帰国報告書

## 留学で学んだ大切なこと

宇部高等学校 1年 大橋 のりか

私がこの企画に応募した理由は主に二つあります。一つ目は将来海外で働きたいと思っていたからです。海外の生活スタイルや環境を知り自分が適応できるかどうかを調べたいと思っていました。二つ目は動物が好きなのでいろいろな動物を見てみたかったからです。私の夢は動物関係の仕事に就くことで海外に行くことでまだ私が知らない仕事を見つけたり考えたりすることができるのではないかと思っています。

私は海外に行くこと自体が初めてなので料理は口に合うか、ちゃんとホストファミリーや近所の人とコミュニケーションがとれるか心配で緊張していましたが、ホストファミリーやホストファミリーの親せき、オーストラリアの人たちは英語が下手な私にもしっかり耳を傾けてくれ、私が理解できないときは翻訳機を使ってくれたり、簡単な単語を使ってくれたり、ジェスチャーを使って教えてくれたりしてくださいました。初めてのオーストラリアでいろいろなことの心配をして緊張している私は英語が下手でもわからなくても、いろいろな手段を使って会話しようとする姿勢が大切なのだと学ぶことができました。また、英語が通じないかもとふさぎこまず、いろいろな人とどんどん会話していくことも大切であると学びました。

ニューカッスル市でホームステイをして、自然と人々が共生しながら生活していく楽しさを学びました。ニューカッスル市はとても自然豊かで草木がいろいろな所に生えており町が色あざやかでとても美しかったです。草木がたくさんあるのでマグパイやクカバラ、ノイジーマイナなどのいろいろな種類の鳥たちが木にとまり休憩していました。どの鳥も日本の鳥が持っていない特徴を持っていてとてもおもしろく、観察しているとすぐに時間がたっていて驚いたことがあります。私のホストマザーは鳥に詳しく、私が鳥の写真を見せると毎回その鳥の名前と特徴を教えてくれました。私の家には大きな木がありホストマザーと一緒にバードウォッチングをすることがとても楽しかったです。ホストマザーはニューカッスル市では見られないオーストラリアの動物を動画で見せてくれました。私の好きなことを一緒にしてくれたのがとても嬉しかったです。

私は今回の留学でコミュニケーションの大切さと相手に歩みよる大切さを学びました。いつでもどんなときでも会話をやめないことが英語を向上させる上や仲良くなる上で大切だと思います。もし留学生を受け入れる機会があるのなら私がされて嬉しかった、いろいろな手段で会話し、話に耳を傾けてくれたこと。好きなことを一緒にしてくれたことなどをしたいと思っています。

# 05 帰国報告書

## 広がる世界、広がる自分

宇部高等学校 1年 河村 歩実

私は食生活と多文化共生を知ること、そして自身の積極性を高めることをテーマに、一日一日を大切に過ごしました。

食生活については、ホストマザーのカレンさんが色々な国の料理を作るのが好きだと聞いていたので、とても楽しみにしていました。実際にホームステイ中は、オーストラリア料理のほかにメキシコ料理やイタリア料理なども登場し、どれも大満足でした。主食はパンやポテト、メインは肉類がほとんどで、サラダやアボカドペーストが毎日ついていました。私はオーストラリアの食生活はとてもボリューミーだと思っていましたが、ホストファミリーは野菜を多くとり、栄養が整っているように感じました。毎回の食事がとても楽しみでおいしかったけれど、特にフリタータ、オージービーフのステーキ、ラザニアは絶品でした。メレンゲとフルーツたっぷりのパブロバを飾り付けて皆に喜んで食べてもらえたのは嬉しい思い出です。唯一口に合わなかったのはベジマイトでした。。。

多文化共生については、日常生活にもキャンパス内にも様々な国にルーツを持つ人がたくさんいました。私もその一人なのですが、バスに乗っても一度も「外国人」という目で見られることなく、そこに住む一人として受け入れられているようでとても居心地が良かったです。高校・大学内では異なる国籍の学生たちが英語で交流し、スーパーでは様々な国の調味料が並び、日本の調味料も十種類以上見ました。街には外国料理の専門店が多くあり、ハラルのマークを大きく表示している店もありました。多様性に富むオーストラリアを見て、これから日本も学べる点があると思いました。

積極性については、自分からホストファミリーに質問をたくさんしてコミュニケーションをとったり、やりたいことを伝えたりすることができました。その結果シドニーやニューカッスル観光をしたり、とても人懐っこい愛犬トイプードルのティオの散歩をしたり、カレンさんの職場見学（ニューカッスル大学研究所と実習室）をさせてもらったりすることができました。また、宇都市や山口県のパンフレットを見せたら日本に行ってみたいととても興味を持ってくれ、嬉しく思いました。

今回の留学で、オーストラリアの良さや日本との相違点をたくさん感じ取ることができました。この貴重な経験を高校生活や将来に活かしていきたいと思います。そして、またいつか必ずオーストラリアを再訪し、ホストファミリーや大学の先生、仲良くなった現地の高校の友達と再会したいです。

# 05 帰国報告書

## 2週間の旅が教えてくれたこと

宇部高等学校 1年 工藤 早葵

今回、私は2週間にわたりオーストラリアで生活を体験する貴重な機会をいただきました。まず初めに、このような素晴らしい経験の場を与えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。正直なところ、事前の面接では自分の力不足を痛感し、合格は難しいのではないかと思っておりました。そのため、合格通知を受け取った時には大きな驚きと同時に、この機会を決して無駄にしてはならないという強い思いを抱きました。

実際にオーストラリアでの生活が始まると、日本との違いに驚くばかりでした。食文化に関しては、見たことも食べたこともない料理に出会うことが多く、最初は戸惑いもありましたが、次第にその違いを楽しめるようになりました。また、道路事情も日本とは大きく異なり、横断歩道が少ないために車の往来をよく確認してから渡らなければならず、日常の小さな場面からも文化の違いを実感しました。学校生活においても、制服やアクセサリーに関する校則が日本よりも緩やかで、生徒一人ひとりが自分らしさを大切にしている様子が印象的でした。そして何より人々の温かさが強く心に残りました。それ違う時に挨拶をしてくれたり、笑顔で接してくださることが多く、その度に安心感を覚えました。

ホストファミリーの方々は本当にお世話になりました。毎日私のことを気にかけ、食事も十分に用意してくださり、夜にはアイスクリームと一緒に食べながら会話を楽しむこともありました。食卓での会話は、英語を使って自分の思いを伝える場でもあり、同時に家族に一員として受け入れていただいている温かさを感じる大切な時間でもありました。滞在が楽しく充実していたため、日本に帰りたくなかったと思うほどでした。

通学は家が近かった先輩と一緒にバスを利用しましたが、時にはバスが来ず、2人で歩いて別のバス停へ向かうこともありました。そのような出来事も含めて今では良い思い出となっています。大学では、想像以上に充実した学びを得ることができました。英語を通じて日常生活に潜む危険について学んだり、オーストラリアならではの動物に触れる機会もあり、授業は常に新鮮で刺激的でした。机の上の勉強だけでなく、現地でしか味わえない体験を通じて、英語の必要性と楽しさを改めて実感することができました。

2週間は有意義な日々となりましたが、振り返ってみるとやり残したこと多く、もう2週間ほど滞在したいと感じるほどでした。特に、もっと英語力を高めて積極的に現地で交流できたらさらに充実した時間になったのではないかと思います。今回の反省を活かして、より多くの人と会話し多様な価値観に触れたいと考えております。

今回の留学を通して、私は異文化に対する理解を深めるとともに自分に未熟さや課題に気が付きました。今回の体験を糧に、努力を重ねていきたいと思います。

# 05 帰国報告書

## 短期留学を終えて

野田学園高等学校 3年 竹永 妃菜子

私は英語力の向上と多文化への理解を深めることを目標に、今回の短期留学に臨みました。オーストラリアを訪れるのは初めてで、留学が決まった時から大きな期待を抱いていました。しかし一方で、ホームステイや現地の方とのコミュニケーションに不安もあり、シドニーへ向かう飛行機の中では緊張で胸がいっぱいでした。

滞在したニューカッスル市は、オーストラリア特有の自然と都市の発展が調和した美しい街で、中心地に位置するニューカッスル大学も自然と融合した素晴らしい場所でした。私のホームステイ先は大学から少し離れていたため、バスと電車を乗り継いで通学しました。公共交通機関では電話をする人や自転車を持ち込む人も多く、初めて利用した際には文化の違いに驚いたのを覚えています。

大学では、オーストラリアの自然や日常を題材に文法を学ぶ授業があり、英語でのプレゼンテーション方法を学ぶ授業まで幅広く体験しました。慣れない環境の中で英語だけを使うのは大変でしたが、どの授業も刺激的で特に大学生と一緒に受けた言語学の授業が印象に残っています。また、ニューカッスル大学の学生と交流する機会も多く、Japanese - English Clubに参加して漢字や折り紙など日本文化を紹介したり、実際に体験してもらったりすることで、積極的に異文化交流ができました。

ホームステイ先では、ホストマザーと一緒にテレビ番組や映画を楽しんだり、食事をしながら日々の出来事や感想を話したりしました。食後に散歩へ出かける時間も心温まるものでした。ホストマザーは一人暮らしだったので、一对一でじっくり会話する機会が多く、常に私を気遣ってくださいました。休日はショッピングやビーチ、蜂蜜専門店などにも連れて行ってくださり、貝殻を拾ったり様々な種類の蜂蜜を試食したりと、たくさんの思い出を作ることができました。

滞在当初は会話の中で聞き返すことも多かったのですが、日を重ねるごとに聞き返す回数が減り、最後の頃には以前より質問を日本語に訳さずに理解し、返答できるようになったと感じました。この成長を糧に、今後も英語学習にさらに力を注ぎたいと思います。そしてまた機会があれば、再び留学に挑戦したいです。

# 05 帰国報告書

## 留学の価値

宇部高等学校 3年 田中 蒼

私は昔から国を超えた関わりに憧れを抱いていて、今年の夏がその夢を達成できる最後の機会だと思い、留学に挑戦することを決意した。

海外渡航は初めてではなかったが、飛行機で9時間もかかる場所に行き、ましてほとんど一人で生活を送ることは、なかなか勇気がいることで、出発時には、不安が大きかったのを覚えている。しかし、現地に到着してからは不安はなくなり、これから約2週間の予定に胸を躍らせた。

今回の留学で印象に残っていることは日本との文化の違いだ。特に食べ物や生活の仕方を感じることが多かった。米は日本のようなジャボニカ米ではなく、インディカ米が主流のようだった。初めて食べた時には、水分量が少ないことに驚いた。また、トイレの便器はどこも冷たく、温かいお湯をはった風呂に入ることは当然できなかった。中でも、バスタオルや服を毎日洗う文化がなく、正直これには少し辟易した。しかし、このようなことを受け入れることが異文化理解への一歩だと思い、生活しているうちに最終日には当たり前のことになっていた。そして、このような経験をすることにより、日本での普段の生活がどれだけ恵まれ、充実しているかを帰国後に実感することができた。

また私は、この留学で、様々なものを得ることができた。

一つ目は物事をポジティブに捉える力だ。滞在中には、バスが来ない日があったり、ホストマザーが不在の日が続いたり、ホームステイ先に他国からの留学生が突然現れたりと、予想外のことがたくさん起こった。最初はその度に緊張を覚えたが、現地で生活を送るうちにそのような出来事にも慣れてくれた。バスが来ないときには町を散策したり、ホストマザーが不在の時には1人での買い物に挑戦してみたりと、自分なりにイレギュラーな時間を楽しむことができた。

二つ目は、自分の成長を実感できたことだ。私のホストマザーは、かなり英語の訛りが強く、初日は言わされたことを聞き返すことが何度もあった。母国語でない言語を、ましてや慣れていない発音で聞き取ることはとてもハードルが高く感じた。しかし、ホストマザーや現地の人とのコミュニケーションを重ねるうちに、言葉を聞き返す回数が減ってきて、会話の流れも流暢になっていった。帰国後、通っている英会話の先生と会話をした際には、留学前よりも、英語を話すスピードが上がったように感じた。

また、主張したいことを整理し、発話に繋げることは、それなりの勇気がいるものだったが、意図が相手に伝わった時、養ってきた英語の力を発揮できたことに喜びを感じることができた。そして、その度に英語を学ぶ価値を実感した。

今回の留学は大きな価値のあるもので、自分の未来を見据えた学びや、興味に沿った生活を送ることができた。特に、大学内で、様々な文化圏の方々と、文化や価値観の共有ができたことを嬉しく思う。そして、出国前から帰国後まで、多くの場面で親身になって支えてくださった油利先生と小野さん、たくさんの挑戦を共にした仲間との濃密な時間がかけがえのない思い出となった。

# 05 帰国報告書

## 短期留学で広がった視野と自分の成長

宇部高等学校 2年 田中 萌々香

私はこの夏、オーストラリアのニューカッスルで2週間の語学研修に参加しました。初めての海外生活ということもあり、不安や緊張を抱えて出発しましたが、現地での体験はその気持ちを大きく上回る発見と学びをもたらしてくれました。

最初の数日は、言葉の壁に直面しました。授業やホームステイ先での会話では、自分の言いたいことがうまく伝えられなかったり、相手の言葉が聞き取れなかったりすることが多く、悔しさを感じました。しかし、聞き返す勇気を持ち、知っている単語を組み合わせて必死に伝えようとするうちに、少しずつ意思疎通ができるようになっていきました。さらに、ホストファミリーとは一緒に食事に出来たり、私の好きな食べ物を食べに連れて行ってくれたりしました。その温かい心遣いにふれるたび、私はとても嬉しく、安心して生活を送ることができました。

放課後や休日には、ニューカッスルの街や自然に触れる機会も多くありました。ビーチでは現地の人々がのびのびと過ごしており、その自由で開放的な雰囲気に驚きました。日本では時間や規則を気にしながら生活することが多いのに対し、現地の人々は「今この瞬間を楽しむ」ことを大切にしているように感じ、その考え方には私にとって新鮮でした。また、街のカフェやショッピングセンターでの何気ないやり取りも、英語を使う良い練習となり、生活そのものが学びの場となりました。

この留学を通して、英語力の向上だけでなく、自分自身の成長を感じています。特に大きかったのは「自分の意見をはっきり言う勇気」を持てたことです。日本では周囲に合わせて行動することが多い私でしたが、異文化の中で「自分はどう考えているのか」を問われる場面が多くあり、最初は戸惑いつつも次第に自信を持って発言できるようになりました。これは将来、大学進学や社会に出たときにも役立つ経験だと思います。

この短期留学は、人生において大きな転機になったと感じています。世界には自分の知らない価値観や生き方が数多く存在し、それらに触れることで視野が広がり、将来の夢や目標をより具体的に考えるきっかけとなりました。今後はこの経験を糧に、さらに英語学習に励み、再び海外で学ぶ機会をつかみたいです。そして、自分が感じた「世界の広さ」と「学ぶ楽しさ」を周囲の人々にも伝えていきたいと思います。

# 05 帰国報告書

## オーストラリアでの生活

慶進高等学校 1年 成清 千華

私はこの2週間の留学でオーストラリアと日本のライフスタイルの違いを感じることができました。

シドニーからニューカッスルへ向かう町並みでは、道路も広く日本よりゆったりして、オシャレだなと感じました。日本ではめずらしいラウンドアバウトという円状の道路も多くありました。

街を見ていると散歩をしている人が多く、日本より健康的だなと思いました。また、ペットと一緒に歩いている人も多くいました。私のホストファミリーも犬を飼っていて、一緒に散歩に行ったりもしました。

オーストラリアはスーパーも18時ごろには閉まり、24時間営業のコンビニもないそうです。早いときにはホストファミリーは17時には夕食を食べ終えていて、生活の流れが全然違うと感じました。

オーストラリアの人は湯船につかる習慣がなくほとんどがシャワーです。私は湯船に1時間位つかっているのが好きなのでシャワーだけでは物足りないと感じましたし、冬だったのでとても寒くてその時ばかりは日本が恋しかったです。また、頭を洗うのが2~3日に1回と日本では風呂キャン界隈と言われて流行になりましたがオーストラリアではそれが普通なので生活の違いを感じました。夕食後はいつもリビングで家族でテレビを見ていて、家族と過ごす時間を大切にしていて良いなと思いました。

大学が始まってまたびっくりしたのはランチタイムです。初日の私のお弁当はとても大きくて友達と比べても2倍ぐらいの大きさでこんな量食べるのと開けた瞬間思いました。日本でこんなにお弁当を持っている人は見たことがありません。果物も日本ではみんな切って持ってきていますがりんごが丸かじりデザートだったりでびっくりしました。オーストラリアの高校に行った際には、授業の時間や仕方が全然違いました。特に驚いたことは、RECESSという時間があることです。RECESSとは休憩時間を表す意味で、その時間では、おやつを食べたり、遊んだりととても楽しい時間でした。日本の学校にもそんな時間が欲しいなと思いました。また、オーストラリアにはクラブなどがないので学校が15時に終わります。他にも夏休み以外でも休みが多く、それにくわえ宿題がないらしく、もし学校に通うなら絶対にオーストラリアの高校に通いたいと思いました。

オーストラリアでの毎日は、衣食住全てにおいて日本とは違うことばかりで、毎日驚きと感動ばかりでした。毎日が楽しそうで、あっという間でまだ帰りたくない！と思える最高の14日間でした。この2週間でオーストラリアが大好きになりました。またぜひ行きたいと思うし、これからもっと英語の勉強を頑張って他国にも行ってまた違うライフスタイルを見つけたいです。

## 私の留学日記

慶進高等学校 2年 橋本 こころ

オーストラリアに留学した2週間は長いようで短く、あっという間に過ぎてしまいました。現地で英語を話す、聞く、そして会話する。特に学んだのは、言いたいことを完璧に言えなくても伝えようとする気持ちだったり、なんとなくの理解力が実は大事だったりすることです。第二言語の取得がそんなに簡単ではない、ということを改めて実感したとともに、本当にいい経験をさせてもらいました。私が工夫していたのは、会話に大胆なジェスチャーを加えることです。そうすることにより相手に伝わりやすくなり、英語で話すことが難しい場合でも意外と通じるということを実体験しました。それでも、言いたいことが単語として出てこないときは何も分かってもらえなかつたので、コミュニケーションの大切さはいい勉強になりました。また、食については、大きな違いがあることがわかりました。まず、食べ物の大きさや量が明らかにオーストラリアのほうが大きいし、多かったです。ショッピングモールに行った際にも、日本で定番にあるような小袋包装が少なくて、パーティーなどで開けるような大袋包装がほとんどでした。海外の方は一人よりも、大人数でシェアして食べるイメージの方が強いので、それが関係しているのかもしれません。味付けについても日本のほうが淡白で、オーストラリアは基本的に濃かったです。スイーツは激甘だし、脂っこい食べ物が多め。だけど食べてみるとどの料理もおいしくて、私はオーストラリアの食も好みでした。毎日出てくる料理は見たことなかったし、ランチも家庭によって異なっていたので、食事の時間はわくわくでいっぱいでした。日本米がないのは物足りなかったけど、その分、オーストラリアでの料理を堪能することができたので良かったです。毎食、楽しませてくれたホストファミリーには感謝しかありません。その他にも色々とよくしていただき、自分の家のように心地よく過ごすことができました。とても優しいホストファミリーの皆さんと出会えて本当に幸せです。人生一生の思い出に残る、最高に充実した2週間でした。本当に楽しかったです！私としては、幅広い年齢層の海外の方と“英語で”コミュニケーションをとることができたことが一番の思い出になりました。支えてくださった様々な方への感謝を忘れず、学んだことはしっかりとこれから的生活に生かしていきます。

# 05 帰国報告書

## オーストラリアで学んだこと

宇部高等学校 2年 道上 莉央

私は2週間オーストラリアに滞在して多くのことを経験することができました。

まず一つ目は現地の人と英語でコミュニケーションを取ることです。学校や家で英会話のレッスンを受けているけれど実際にオーストラリアで毎日英語を使ったりネイティブの発音やスラングなども学ぶことができました。平日はニューカッスル大学に行って英語やオーストラリアのビーチや動物、スラングなどを先生とSEPの方から学ぶことができました。また学校から帰った後はホストファミリーと会話したり買い物やジムに行くなどとても貴重な経験をすることができました。

二つ目は現地のハイスクールを訪れて生徒の人たちと授業を受けたことです。私たちはニューカッスルハイスクールとコタラハイスクールに行きました。ニューカッスルハイスクールでは日本語クラスに参加し、午後にはサッカーをして交流を深めました。コタラハイスクールでは学校内探検や日本語クラス、オーストラリアと日本に関するクイズ大会、バーベキューなど様々なことをしました。特に日本語クラスでは多くの生徒と会話し友達ができたり、バーベキューではオーストラリアで有名なホットドッグやお菓子を食べました。二つのハイスクールに行って初めて海外に友達ができオーストラリアでの生活や日本の文化をメールで話すことができていて本当に行くことができて良かったです。

三つ目はオーストラリアの自然に触れることができたことです。特にホエールウォッチングでは船に乗ってくじらを5匹程度実際に見ることができました。潮を吹いていたり泳いでいる様子を見られてとても良かったです。ブルーマウンテンズではスリーシースターズや大自然をロープウェイなどに乗って見ることができました。ブラックバットではオーストラリアに生息する動物、特にカンガルーやコアラを見てることができてとても良かったです。

このオーストラリアの滞在では本当に多くのことを学び経験をすることができました。この経験はとても貴重なものなので今後の生活で活かしていきたいと思います。このオーストラリア派遣事業に参加できて本当に良かったです。

# 05 帰国報告書

## オーストラリアでの学びと発見

宇部鴻城高等学校 2年 盛橋 明夢

私は英語力を伸ばすことを目的として今回の留学に臨みました。しかし、実際に現地で英語に囲まれて生活をして学び、交流していく中で英語のこと以上に多くの学びや経験を得ることができました。

現地に着くまでは英語できちんと生活できるのかということばかり気にして、英語そのものを学ぶことにしか焦点を置いていませんでした。しかし、現地での生活は私に英語は「勉強の対象」ではなく「人と話をするためのツール」であるということを強く実感させてくれました。もちろんスムーズに会話はできないし、語彙力不足のせいでうまく伝え理解することができなかったり、返答や反応のバリエーションが少なくもどかしさを感じたことも多々ありましたが、全く違う文化や価値観に触れて会話をすることが何よりも楽しく、本来の英語のあり方を体験することができました。

また、海外の公共交通機関を使って通学するというのも貴重な経験でした。大学からホームステイ先に帰る時にバスを間違えてしまい、何度も現地の人に助けられました。最初は話しかけることにも緊張していましたが、みなさん優しく対応してくださって暖かさを感じました。何度も間違えて何度も道を聞くうちに「間違えても伝えようとする姿勢と礼儀を持って自分からSOSを出せば必ず助けてくれる」と考えられるようになってきて、楽しんで通学することができました。

現地の高校であった生徒さんとの交流も印象的でした。どちらの高校も日本語を学んでいると知り驚きましたが、それ以上に学生さんの日本語の上手さと実際の会話を想定した対話練習を重視する授業スタイルに感心しました。日本の英語教育とは異なる言語を『使う』ということに重きを置き、コミュニケーション能力を育成するというニューカッスルの教育スタイルが本来あるべき言語教育の形態であるなと考えさせられました。

また、日本の家庭と同じような理由でホストファミリーの娘さんたちが姉妹喧嘩をしていたり、助けを求める時に優しく対応してくれたり、似たような校則があったり等意外に共通点があったということもわかってとても興味深かったです。

そして何より、ホストファミリーや大学の先生、現地の方々がみんな優しく、親切に接してくれたことが心に残っています。不安は多々ありましたが、そういった人たちとの交流が不安を和らげ、楽しさへと変えてくれました。

この留学を通して、「英語力」ではなく「自分で考え行動する力」や「人とつながる力」が身についたと思います。また、言語や価値観が違っても変わらないことがたくさんあるということを学ぶことができました。高校生の内に異文化の中に飛び込み、視野を大きく広げるというこの価値ある貴重な体験は、今後の私の人生の大きな財産となるはずです。未知の世界に飛び込んでみることで日本においては得られないような学びや成長を得ることができました。もっと多くの高校生が留学して、このような素晴らしい経験を得ることができたらいいなと思います。

# 05 帰国報告書

宇都市姉妹都市短期留学事業を通じて  
宇部中央高等学校 教諭 油利 圭子

## 1. ニューカッスル大学ランゲージセンターでの語学研修

担当のHew先生のご指導のもと、2週間の語学研修が行われました。多様な表現の習得、知識・技能の活用、活動・体験など、4技能すべてにアプローチする授業構成で、TEAMSを用いて、課題やジャーナルの提出、授業連絡が行われ、機能的に体系化された研修となっていました。

参加生徒の皆さんも日を追うごとに持ち前の前向きさや積極性を更に發揮し、単語・短文レベルから複文での発言へと、2週間での進化には大変目覚ましいものがありました。

現地の大学生と共に大学の授業も聴講させていただき、「なぜ第二言語を学ぶのか」という根源的な問いに、現地の大学生たちと議論を深めるという貴重な機会もいただきました。

ホエールウォッチングやブラックバット動物保護区への視察、イギリスなどの北半球で祝う真冬のクリスマスをオーストラリアでも味わう“Christmas in July（7月25日）”を体験する授業など、オーストラリアの動植物や文化に触れる様々な活動も充実していました。

授業外でも、昼食の注文時には「前に並んでいる人を真似して、サンドイッチのパン・野菜・ソースを選ぶときはハキハキ言うことがポイントだと学びました」と嬉しそうに話してくれるなど、多様な経験から多くを学んでいる様子でした。

放課後は日英クラブにも参加し、皆で知恵を出し合いながら、英語の名前を漢字の当て字に直してポストカードに筆ペンで書いてプレゼントするなど、文化交流を深めました。



登校初日のオリエンテーション



Christmas in July

# 05 帰国報告書

## 2. コタラハイスクール・ニューカッスルハイスクール訪問

今年度は、宇部高等学校の姉妹校であるコタラハイスクールにも訪問することができました。両校の約40年にわたる交流の中で、過去に宇部市に来たことがある、または、来年の修学旅行で訪問予定のある生徒や先生方が多く、大変温かくお迎えくださいました。ウェルカムセレモニーや日本語の授業への参加、また、昼食時にはバーベキューを振舞っていただき、生徒たちは様々な新しい体験を通じて同世代の生徒たちとの交流を深めました。

また、ニューカッスルハイスクールにも訪問する機会をいただき、こちらでも日本語の授業への参加のほかに「ひらがなクラブ」や体育の授業にも加わり、現地の生徒に混ざってサッカーをしたり、放課後にアイスクリームショップに行ったりという機会にも恵まれました。

学校ごとの特色も肌で感じ、現地の生徒たちと交流することで、多くの気づきを得たり、アボリジニの生徒を対象とする学習サポートなどのオーストラリアらしい教育システムに触れたり、貴重な経験となりました。



コタラハイスクールの生徒たちと

## 3. ホームステイ

今回の研修で、生徒たちが一人きりの力で英語のみでコミュニケーションを取り、現地の生活や文化を知る最大の機会の一つとなったのがホームステイでした。はじめは戸惑うことも多かったと思いますが、授業初日には早速一人で公共交通機関を利用して登校する生徒も多く、大変遅くなったりを感じられ、少し大人びた表情が印象的でした。また、ホストファミリーとはスマートフォンのメッセージ機能を使いこなして送迎依頼などの連絡を取り合い、積極的にコミュニケーションを取る姿にも英語を使うことへの楽しさと自信を感じました。

ホストファミリーにはインドネシア・ベトナム・韓国・英國系のご家庭もあり、生徒たちは違いを楽しみながら、オーストラリアの多様な文化を肌で感じることができました。入浴時間や洗髪の頻度、早い就寝時間、食習慣、ライフワークバランス、環境意識など、生徒たちが文化の違いや多様性を柔軟に受け入れて適応する姿にも感銘を受けました。

# 05 帰国報告書

## 4. 全体を通じて

今年度の事業は、事前の細やかなご準備のおかげで、ニューカッスル大学での語学研修に加え、大学の授業聴講、コタラ・ニューカッスルハイスクールへの訪問、XPツアーやブラックバット動物保護区の観察、シドニー研修など、大変充実した研修内容となりました。

生徒たちは、常に明るく前向きに、積極的な気持ちですべての行程に取り組んでおり、研修のあらゆる場面を捉えて成長している様子を目の当たりにすることができました。

最終日に生徒たちが今回の研修で最も印象に残ったことを発表したところ、

- ホストファミリーに会えたこと
- 野生動物を見ることができたこと
- 日本と違うライフスタイルを学ぶことができたこと
- 現地の公共交通機関で通学したこと
- 現地の人たちと英語でコミュニケーションをとること
- 考えが違う人とコミュニケーションをとることの大切さを学んだこと
- コタラハイスクールで旧友（以前ホームステイを引き受けた生徒）とまた会えたこと
- シドニー観光
- ブラックバット動物保護区で動物について学んだこと
- ビーチやブルーマウンテン等色々な場所に行けたこと
- コアラを見ることができたこと

など、多岐にわたりましたが、最終日に全員から「もっとニューカッスルにいたい」「また絶対に戻って来たい」という声を聞くことができ、生徒たちにとって充実した研修となったことを実感し、大変嬉しく、本事業の目標を達成できましたことに安堵しております。

参加生徒の皆さんのが、それぞれの学校やご家庭でこの成果をひとりでも多くの人に伝えてくれますこと、この研修での体験が参加生徒の皆さんにとって生涯の財産となりますこと、また、本研修を通じて出会った人々や仲間、ニューカッスル市とのご縁が末永く続きますことを心より願っています。



学校最終日のランチ



シドニーのオペラハウスの前で

# 05 帰国報告書

---

## 5. 最後に

この度は、宇都市姉妹都市短期留学引率という大役を仰せつかり、このような素晴らしい機会を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。また、ご引率くださいました小野様をはじめ、企画・募集から準備・運営にわたり、細やかにご尽力くださいましたすべての関係者の皆様に、重ねて厚く御礼申し上げます。

今回の研修では宇都市とニューカッスル市の長きにわたる交流の中で、大変多くの方々が様々なお立場や場面でご尽力されてきた両市の交流の歴史と深い絆を強く感じる機会となりました。

今回の支援事業も、両市の交流の一翼を少しでも担うことができたのであれば幸甚です。

今後の両市の交流がますます発展しますことを心より祈念し、報告とさせていただきます。

# 05 帰国報告書

## オーストラリアでの出会い

宇部市観光スポーツ文化部観光交流課 小野 健次郎

昨年度に引き続き、大きなトラブルもなく、無事に事業を終えることができました。この事業に御協力いただいた全ての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。2年連続で引率を担当させていただき、さらに姉妹都市提携45周年という節目の年に、ニューカッスル市を訪問できたことを大変光栄に感じています。

現地の学校や生徒たちの様子については、引率を御担当いただいた油利先生の報告書が詳しく、また的確であると思われますので、私はこの2週間で特に印象に残った人との出会いについて記述させていただきます。

この2週間を振り返ると、本当に多くの素晴らしい出会いがありました。その中でも特に印象深かった出来事をいくつか御紹介いたします。

まずは、羽田空港発シドニー行のフライトでの出会いです。夏休みの時期で大勢の乗客がいたため、私たち一行は一部の生徒を除いて座席が離れることとなりました。私も見知らぬ方々に挟まれる形で着席しましたが、右隣に座った男性と少し言葉を交わした際、私が「シドニーを経由し、ニューカッスル市に向かう」と伝えると、その方は驚きの表情を浮かべました。話を伺うと、その方はニューカッスル大学教育学部の講師で、日本語教育を担当されている、ベン先生という方でした。ベン先生は、ニューカッスル大学やニューカッスル市のハイスクールに勤務する日本語教師の方々とも交流が深く、日本語教育に関する知識をお持ちで、話していると非常に興味深い内容が次々に出てきました。

さらに驚いたのは、左隣の女性が急に身を乗り出してベン先生に話しかけたことでした。その方は、シドニー市近郊のハイスクールで日本語教師を務めるキヨカ先生という方で、以前オンラインでの学会で、ベン先生のセミナーを視聴されていたとのことでした。初めは無言で9時間を過ごすかと思っていましたが、結果的には睡眠時間を除いて3人でオーストラリアの教育制度や日本語教育の現状、課題、さらに大学入試のシステムについて語り合う貴重な時間となりました。

次に印象深かったのは、ホストファミリーとの出会いです。引率者も生徒同様ホームステイをしながら期間を過ごしましたが、到着初日にホストファミリーが「宇部市から来ると聞いて、見せようと思って準備していたものがある」とアルバムを取り出してくれました。それには、息子さんが2011年頃、コタラハイスクールの交流プログラムの一環として宇部高等学校を訪問した際の写真が収められていました。さらに驚いたのは、その息子さんが宇部高等学校で友達となった方々と、今もSNSを通じて交流を続けているということでした。こうした情報は事前に知らされていなかったため、非常に驚くとともに、これはまさに45年にわたる宇部市とニューカッスル市の友好関係が実を結んでいる証だと実感しました。

## 05 帰国報告書

---

その他、滞在期間中には、ニューカッスルハイスクールのジョディ先生の御支援のもと、宇部市との交流に関心をお持ちのニューカッスル市内の法人や団体の方々とお会いすることができました。45年という歴史の中で、私はまだ数年関わったのみですが、どの方からも「宇部市から来た」と温かく歓迎していただきました。これまで交流を支えてくださった多くの方々に深い感謝の意を表すとともに、今後はこの歴史を守り継承していかなければならぬと改めて感じました。

青少年交流をはじめ、今後も宇部市とニューカッスル市との友情が末長く続くよう願いつつ、引き続き業務に取り組んでまいりたいと存じます。

最後になりますが、一緒に御引率いただいた宇部中央高等学校の油利先生、ニューカッスル大学ランゲージセンターの皆様、生徒たちの訪問が実現する場を提供してくださったニューカッスルハイスクール、コタラハイスクールの先生方、そして、その他の全ての関係者の方々に改めて心から感謝申し上げます。

# 06 資料

## 出発前研修

日付	内容
7/6	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アイスブレイク</li><li>・ 留学のテーマ設定</li><li>・ ALTとの英会話レッスン</li></ul>
7/13	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 宇部市とニューカッスル市について</li><li>・ 宇部市多文化共生推進ビジョンについて</li><li>・ やさしい日本語講座</li></ul>

## 出発前表敬訪問

日付	内容
7/14	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自己紹介</li><li>・ 市長、議長及び宇部市・ニューカッスル市姉妹都市友好協会会長と意見交換</li></ul>

## 帰国後研修会

日付	内容
8/8	<ul style="list-style-type: none"><li>・ TOEIC Bridge® Listening &amp; Reading Test</li></ul>

## 帰国報告会

日付	内容
8/16	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市長及び宇部市・ニューカッスル市姉妹都市友好協会会長の挨拶</li><li>・ 帰国報告</li><li>・ 議長及び教育長からのねぎらいの言葉</li></ul>

## ニューカッスル市の概要

ニューカッスル市は、オーストラリアの南東部、ニューサウスウェールズ州の東海岸部中央に位置し、シドニーの北東約160kmにあるハンター地方の中心都市で、人口約17万人（2022年現在）、気候は温暖で、州内第2の産業都市です。市の北西約100kmの背後に広がる豊かなハンター炭田は、オーストラリアで最初に開発された歴史を持っています。かつては、市内でも採掘されていた石炭は、製鉄所や造船その他の関連工業を興し、臨海産業都市として発展してきました。市の中心部には、大学を始め高い水準の教育、文化、体育施設があります。また、現在は美しい海岸線と豊かな自然を有する観光都市として、毎年多くの観光客が訪れています。



## 姉妹都市提携の背景

昭和54年（1979年）3月に定められた宇都市総合計画基本構想において、「国際社会の調和ある発展に寄与し、姉妹都市提携による総合的な交流を展開する」ことを掲げ、9か国21都市を候補として、調査・検討を進めました。

一方、市内主要企業においては、昭和51年（1976年）以来石油にかわるエネルギーとして、石炭をオーストラリアから輸入し、経済交流が続いていました。

このような情勢の中で、昭和55年（1980年）7月、22人の市民有志による豪州親善視察団が、オーストラリアの数都市を視察調査し、帰国後、姉妹都市としてニューカッスル市が最適である旨の報告が提出されました。

その後、種々検討のうえ、同年9月、市議会の賛同を得て、ニューカッスル市との姉妹都市を決定し、11月21日にニューカッスル市において調印式を行いました。



## 主な交流経過

姉妹都市提携以来、教育・文化、青少年、スポーツ、経済等幅広い交流を行ってきました。この間、昭和60年（1985年）には、宇部市・ニューカッスル市姉妹都市友好協会が設立され、市民レベルの交流が活発に展開されるようになりました。

青少年交流については、昭和61年度から高校生研修派遣、平成3年度から中学生研修派遣が実施され、交流の重要な分野の一つとなっています。

文化交流については、これまで提携10周年、15周年、20周年、25周年、30周年といった節目の年に文化訪問団を派遣し、交流を深めています。

また、今年度は姉妹都市提携45周年にあたることから、宇部まつりに合わせ、ニューカッスル市から市議会議員二人をお招きしました。



宇部まつりのパレードに参加したときの様子（令和7年（2025年）11月2日）





---

令和7年（2025年）11月

宇部市 観光スポーツ文化部 観光交流課

〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号  
TEL 0836-34-8136 FAX 0836-22-6083  
E-mail [okusai@city.ube.yamaguchi.jp](mailto:okusai@city.ube.yamaguchi.jp)

---